

J Aの自己改革に関する組合員アンケート集計結果報告

【調査の概要】

1. 調査目的：J Aグループでは、J A自ら、自己改革への評価などに関する正組合員・准組合員の意思を的確に把握し、正組合員・准組合員の対話強化の契機とし、正組合員・准組合員との一層関係強化に取り組むために「J Aの自己改革に関する組合員アンケート」を実施しました。

2. 調査実施期間：平成31年1月～令和元年12月

3. 調査対象者：J A東京あおば、すべての正組合員・准組合員

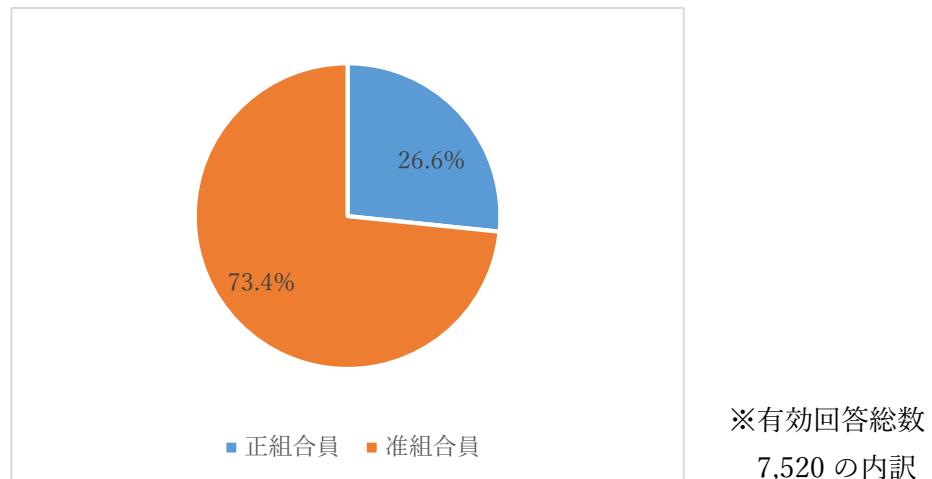
4. 調査手法：郵送による配布／回収時一部訪問

アンケート回答状況

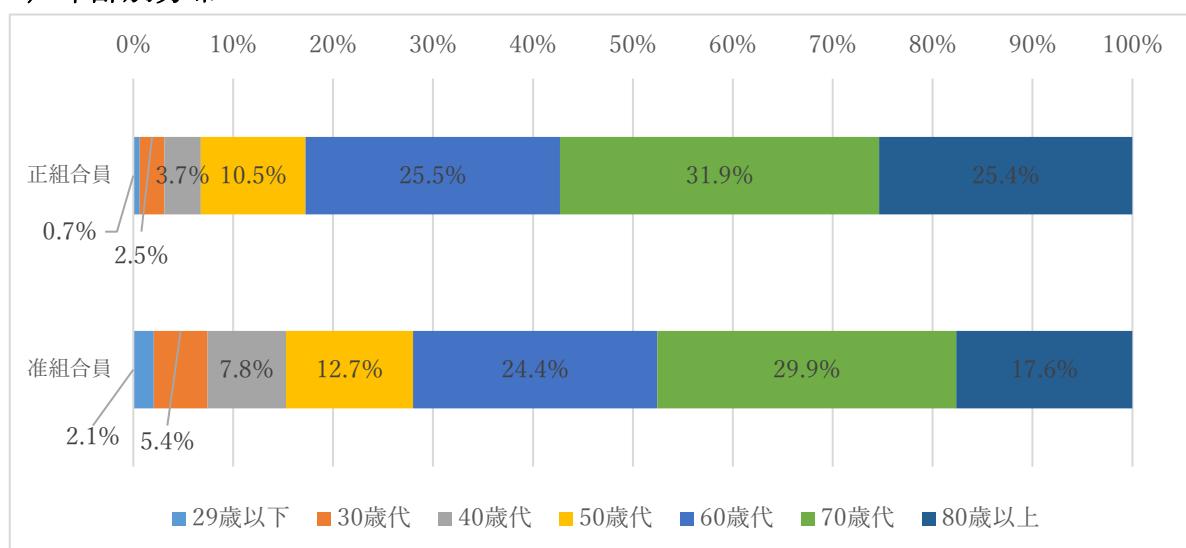
J A 東京あおば	配布数	有効回答数	回収率
正組合員	2,718	2,005	73.7%
准組合員	27,862	5,515	19.7%

回答者の属性

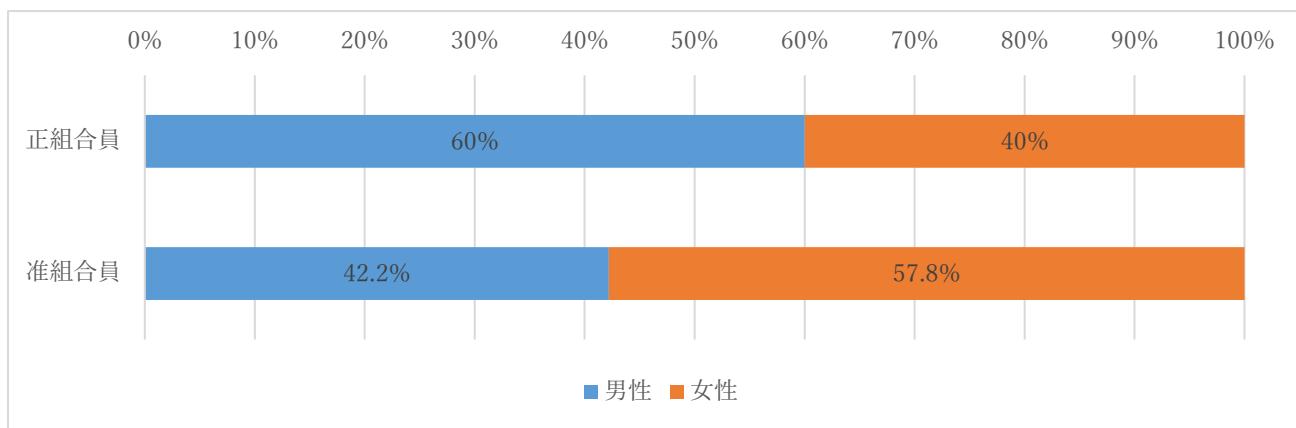
(1) 組合員資格



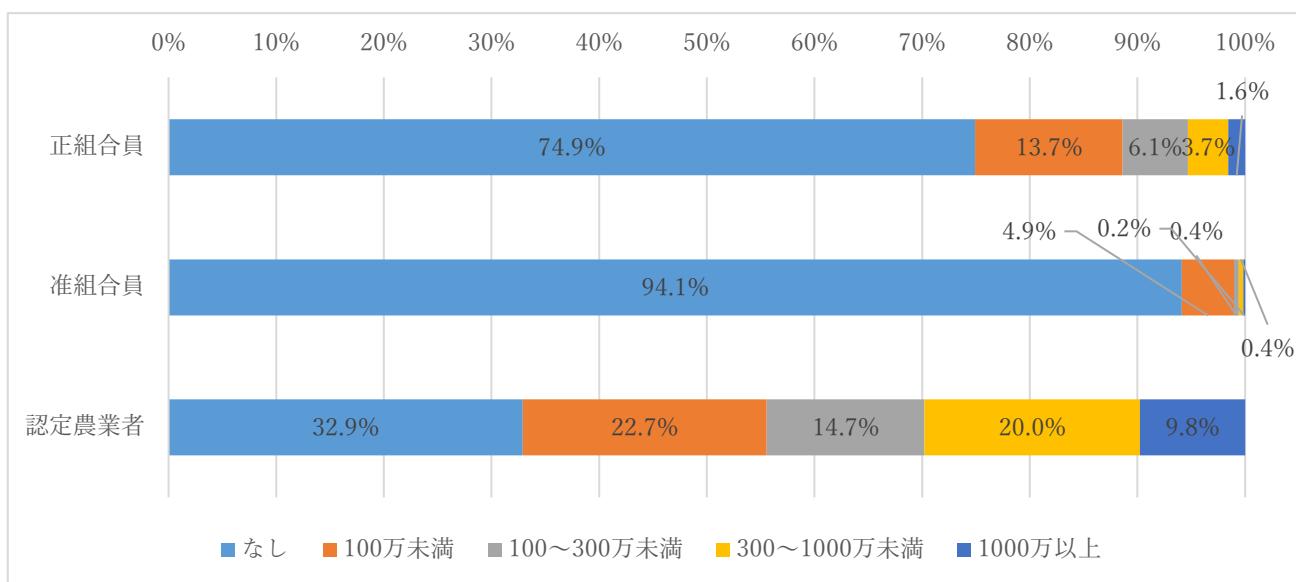
(2) 年齢別分布



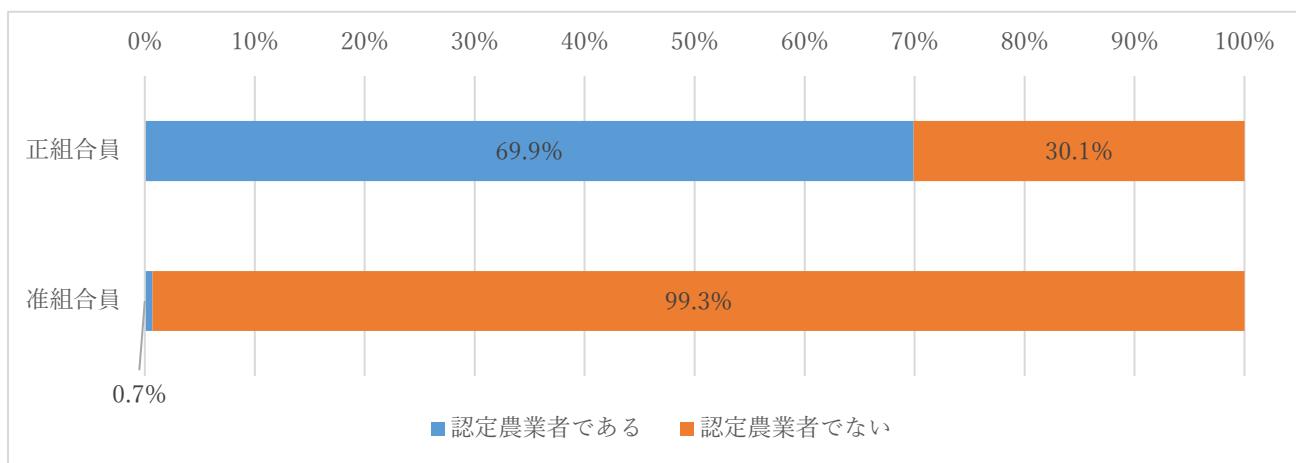
(3) 性別分布



(4) 農畜産物販売金額（過去1年間・税込）



(5) 認定農業者



アンケート結果① JAの必要性、総合事業の継続について

問 1

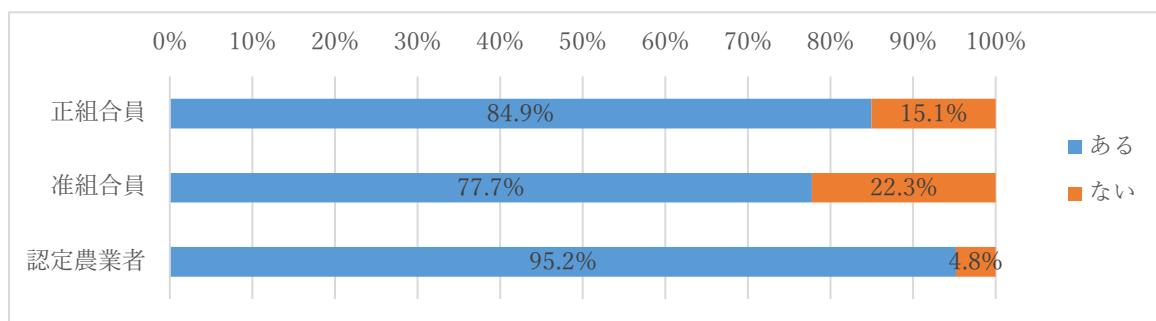
「JA事業を利用したことがありますか」、「JAは、地域農業や暮らしにとって必要な存在だとお感じになりますか?」、「JAの総合事業について、どのようにお考えになりますか?」とお伺いしました。



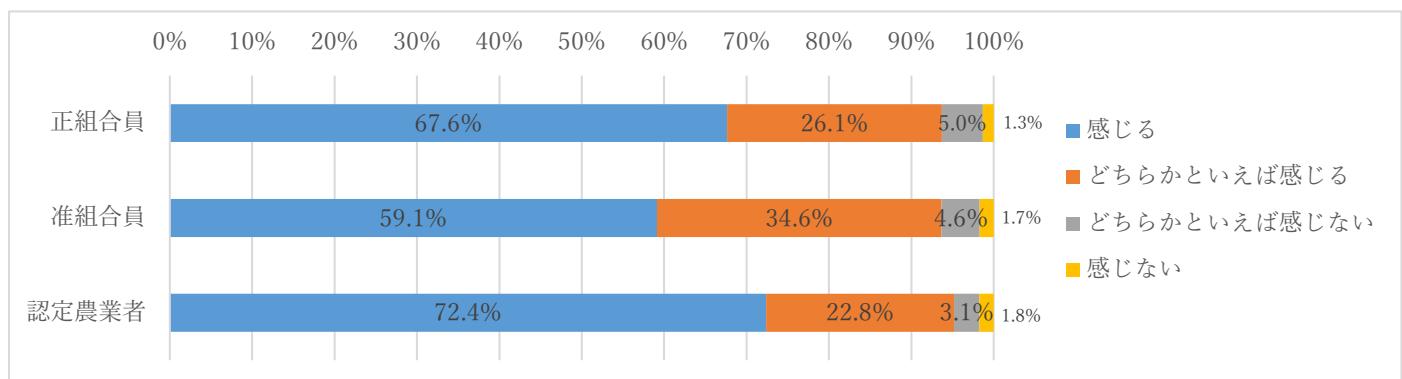
○「JAの必要性」については、正・准組合員で93.7%が「必要な存在」「どちらかといえば、必要な存在」との回答がありました。

○「JAの総合事業の継続」については、正組合員では、92.3%、准組合員では92.7%が「総合事業は継続すべき」「どちらかといえば総合事業は継続すべき」と回答がありました。

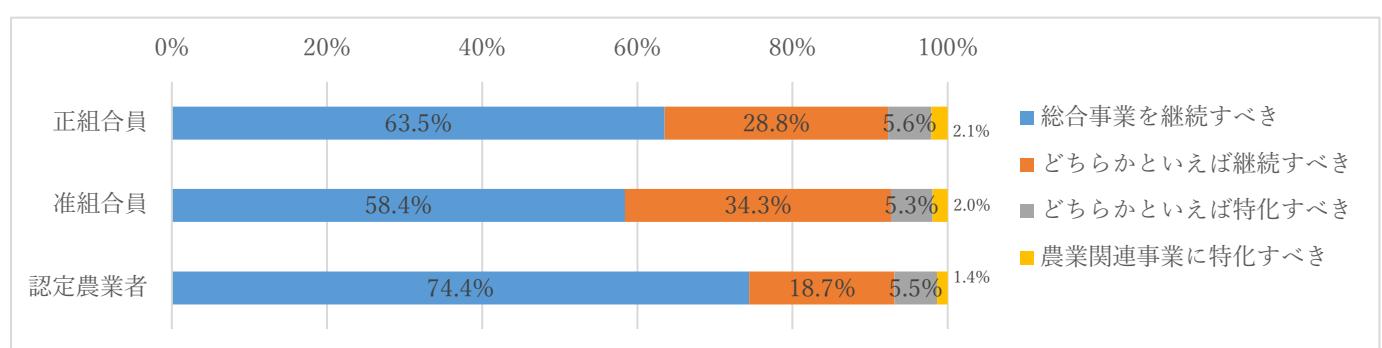
Q-A. あなたはJAの事業を利用したことがありますか?



Q-B. JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だとお感じになりますか?



Q-C. JAの総合事業について、どのようにお考えになりますか?



問2

営農事業、農畜産物販売事業、生産資材購買事業についてそれぞれ、利用状況、期待度、満足度、3年前と比較してどう変化したのかをお伺いしました。

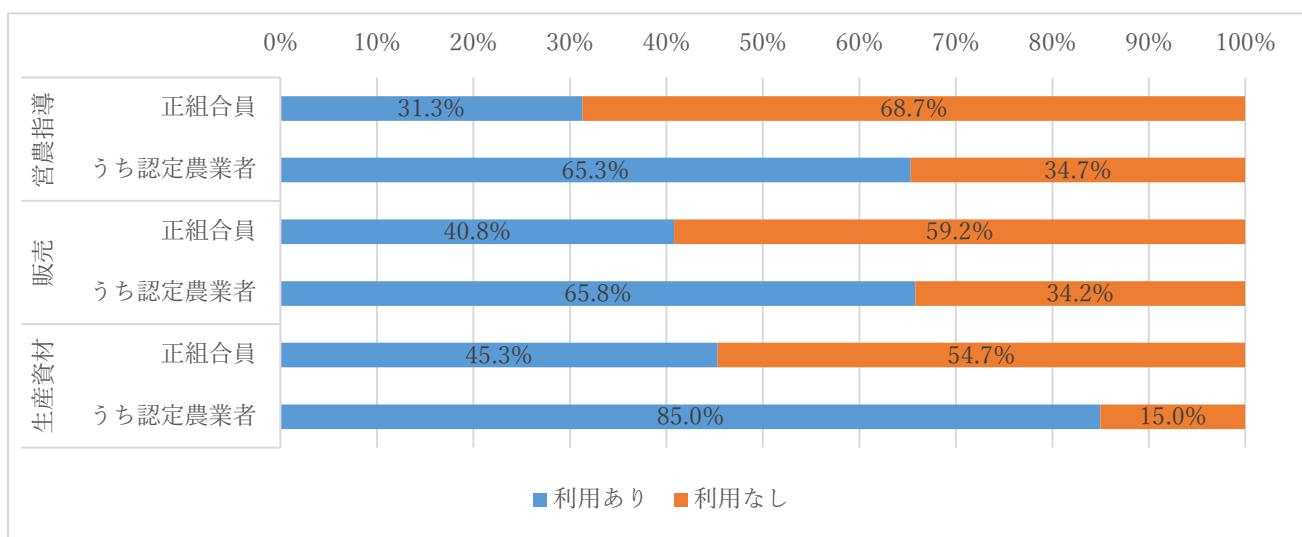


○期待度は、全ての事業において、正組合員全体で、約7～8割が「期待」「やや期待」と回答しました。また、「どちらかといえば、期待」を超えると約9割となっています。

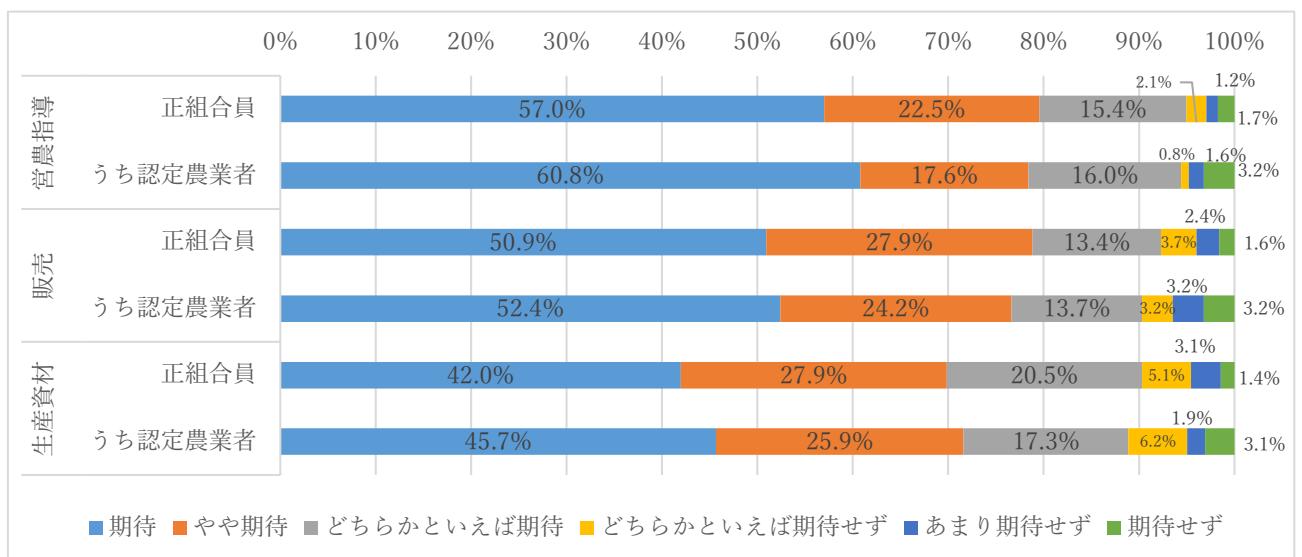
○満足度は、全ての事業において、正組合員全体で、約6割が「満足」「やや満足」と回答しました。また、「どちらかといえば、満足」を加えると、約8割となっています。

○改善度では、全ての事業において、正組合員全体で、約6割が「改善した」「改善しつつある」、約2割が「もともと良い」と回答しました。

Q-A. 営農指導事業（農業の栽培技術指導や経営支援など）、農畜産物販売事業、生産資材購買事業（肥料や農機具等の販売など）の利用状況（過去1年間）



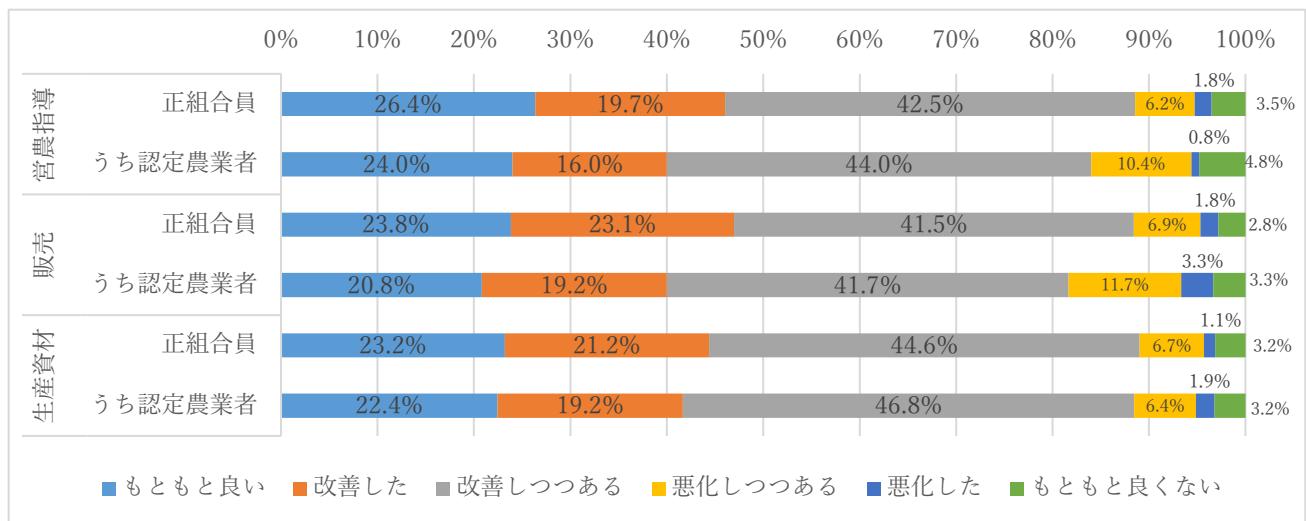
Q-B. JA東京あおばへの期待度について



Q-C. JA 東京あおばへの満足度について



Q-D. 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？



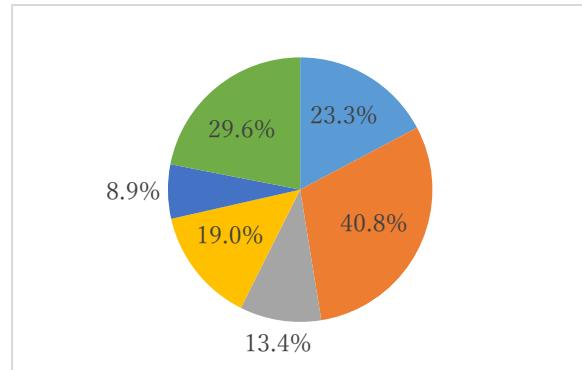
アンケート結果③ 自己改革の認知度

問3

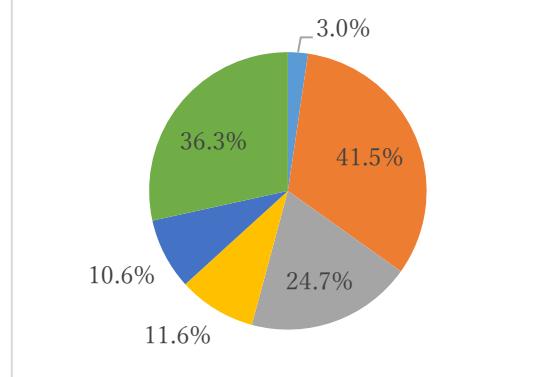
あなたのJAは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標とした自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存じですか？（複数回答可）

- ① 総代会、座談会、生産部会の会合などで知った
- ② パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、ホームページなどで知った
- ③ イベントや直売所で知った
- ④ JA役職員から直接聞いて知った
- ⑤ その他の方法で知った
- ⑥ 知らなかった

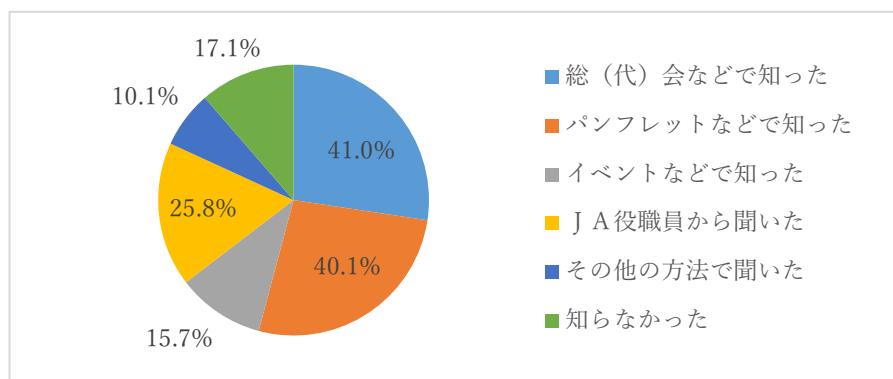
（1）正組合員



（2）准組合員



（3）認定農業者



アンケート結果④ JAの地域農業の振興や地域づくり応援、

准組合員の事業利用の制限について

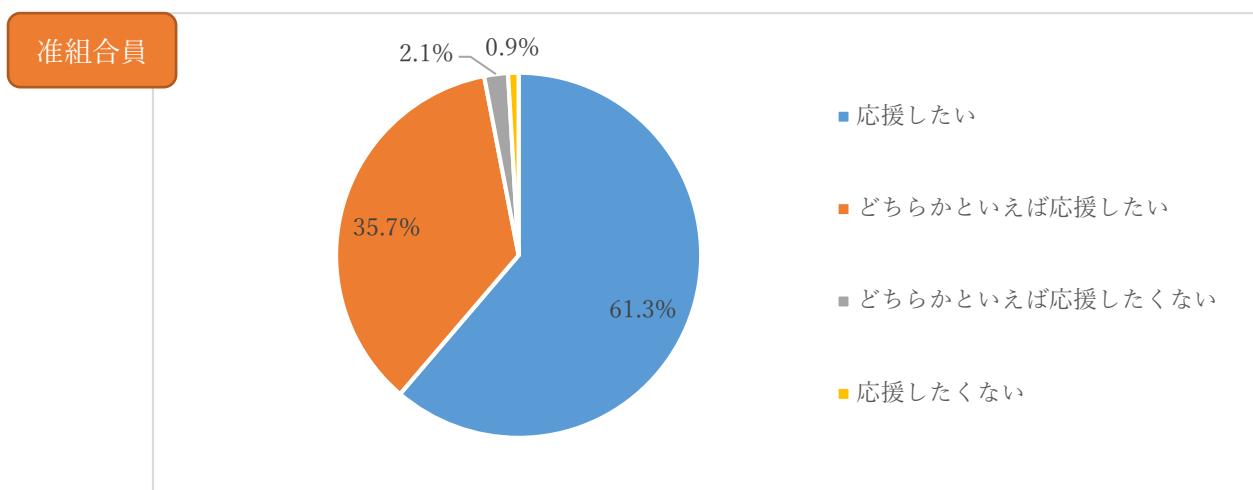
問4

「JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べること、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか?」「准組合員のJA事業利用や、正組合員(農業者)にとっても必要だと思いますか?」「准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)が利用する農業関連事業の改善を阻害していると思いますか?」「准組合員のJA事業の利用が制限されることについてどうお考えですか?」とお伺いしました。

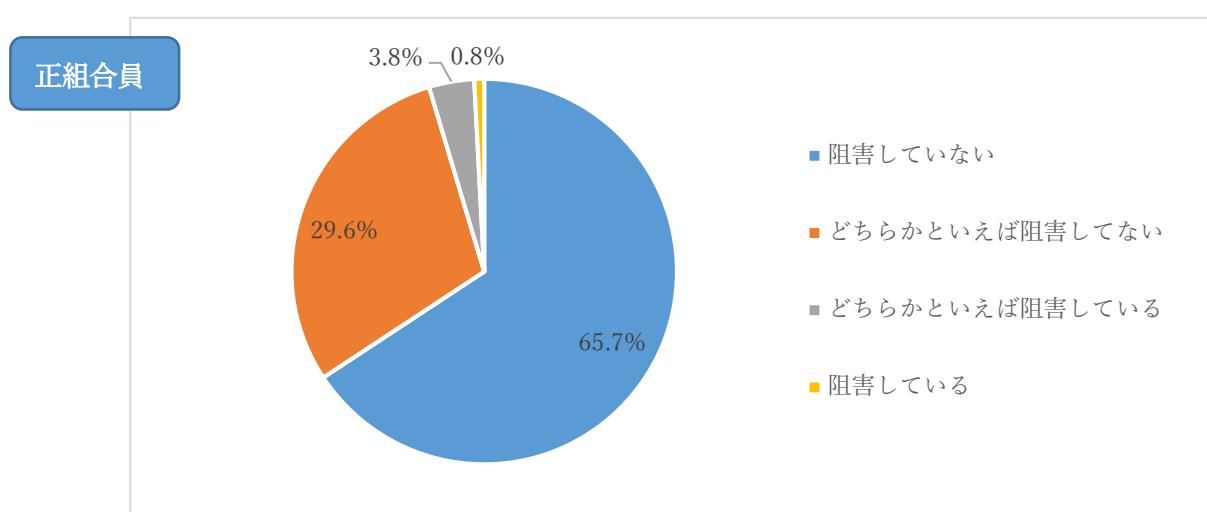


- JAの農業の振興や地域づくり活動について、准組合員の97%が「応援したい」、「どちらかといえば応援したい」と回答しました。
- 准組合員の事業の利用の制限について、正組合員の84.5%、准組合員の91.0%が「制限しない方がよい」と回答しました。

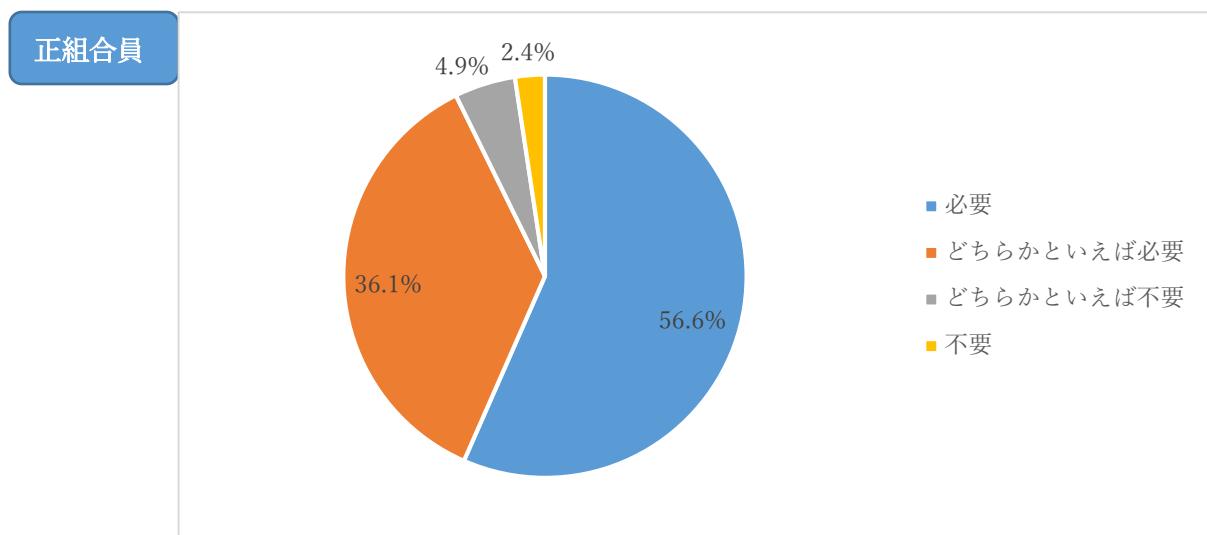
Q-A. JAの事業を利用したり、地域の農産物を食べること、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか?



Q-B. 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)が利用する農業関連事業の改善を阻害していると思いますか?



Q-C. 准組合員のJA事業利用は、正組合員（農業者）にとっても必要だと思いますか？



Q. 准組合員のJA事業の利用が制限されることについてどうお考えですか？

